



日本学術会議 シンポジウム

サービス学の新たな展開

2014年9月30日 13:00~17:00
芝浦工業大学 豊洲キャンパス 交流棟 402号室

開催趣旨

サービスに対する科学的認識が進んでいる。従来、経済学や経営学の対象であったサービスについて、工学など諸領域からの取り組みが活発化している。第三次産業が雇用でもGDPでも7割を超えている状況を鑑みるなら、サービスに関する学術的取り組み方法を日本学術会議としても明確に示していく必要がある。そのために、サービス学分科会が活動を始めたのである。

サービス学の分野では、サービス活動の解明、サービス生産の高効率化、価値共創のあり方などについて研究が広がっている。そこで本シンポジウムでは、サービスを学術的にどのように扱うかについて討論する。サービスの研究方法、設計方法を論じ、社会での受容や技術予測を眺め、サービスに対する日本学術会議の取り組み方法を議論する。

プログラム

司会 野城 智也 (東京大学)

- 13:00~ 開会の挨拶
- 13:10~ サービス科学の研究方法 土居範久 (科学技術振興機構)
- 13:50~ サービスの設計論理 上田完次 (東京大学)
- <休憩>
- 14:45~ 経営学におけるサービス研究と理工学的アプローチ
戸谷圭子 (明治大学)
- 15:25~ 社会のサービス化 中島秀之 (はこだて未来大学)
- 16:05~ サービスの技術予測 新井民夫 (芝浦工業大学)
- 16:45~ 総合質問と閉会の挨拶

各講演では、発表30分の後に指名質問者による5分の質疑、一般聴衆による5分の質疑、計10分の討論を行います。

背景はサービスの生産利用の過程で使われる学術領域を示した図です。

参加登録 本シンポジウムの参加費は無料ですが、登録が必要です。先着100名様を受け付けます。参加希望者は9月23日(火)迄にご登録ください。

<http://goo.gl/NNz5C1>



主催：日本学術会議 総合工学委員会 サービス学分科会
 共催：日本学術会議 機械工学委員会 生産科学分科会
 後援：サービス学会、科学技術振興機構 社会技術研究開発センター(RISTEX)、
 サービス産業生産性協議会、電子情報通信学会、情報処理学会

